

Weekly Bulletin 2023-2024



RI会長
ゴードンR.マッキナリー



世界に希望を生み出そう

静岡東ロータリークラブ

会長/川口尚宜 幹事/宮崎貴久

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
川口尚宜



- 第3089回例会 令和6年 2月 8日
- 《司会》 宮崎 貴久君
 - 《合唱》 静岡東ロータリー
 - 《ソングリーダー》 近江 陽子君
 - 《ゲスト》 国際ロータリー第2620地区奉仕活動委員会
国際担当副委員長 望月啓行 様
 - 《ビジター》 なし
 - 《本日のお祝い》
 - ・お誕生日
 - 2月1日 伊藤 洋一郎君
 - 2月12日 山下 勝央君
 - ・結婚記念日
 - 2月10日 佐野 哲一君
 - 《会長挨拶要旨》 川口尚宜 会長



本日は、先週予告したイタリアの視察報告ではなくて2/11(日)の建国記念日についてのお話しをします。予告でチラ見せしたにも関わらずすいませ

ん。イタリア視察報告は、次週休例会のため、今の予定で2/22に行う予定です。

さて、2/11は毎年建国記念日ですが、これは珍しく元々の祝日の意味がわかります。通常、祝日の名前は元々の意味がわからないようになっています。誰がいつしたかというGHQが敗戦後昭和20年から27年の占領政策の中で行いました。例えば11/23は勤労感謝の日ですが、元々は新嘗祭(いなめさい)という名前でした。新嘗祭は、天皇陛下が今年もお米が取れたことを日本の全ての神に感謝する祈りを捧げる日です。

春分の日は春季皇霊祭、秋分の日は秋季皇霊祭でした。これら変更された祝日名は全て皇室に係る祝日だったのです。GHQは、日本人が日本人たる皇室を思い出させるものを徹底的に排除しました。日本人が天皇陛下の元に再結集し、二度とアメリカに歯向かうことがないように色々な仕掛けを7年間の占領期間に仕込みました。昭和22年に旧宮家である11宮家の皇位継承者26名を皇籍離脱させたのもその一つです。目的は、皇室の廃絶です。このことは、又いつかお話します。

さて、建国記念日のお話しに戻りますが、建国記念日は、元々「紀元節」と言われていました。紀元節とは、初代天皇の神武天皇が天皇に即位された日です。これがいつかという、前にもお話ししたか

もしれませんが、紀元前 660 年の 2 月 11 日です。つまり、イエスキリストが生まれる 660 年前に日本という国が出来たということです。建国から 2684 年の歴史がある国は国連加盟国 196 ヲ国中ダントツの一位です。世界 2 位がデンマークで 1,086 年、3 位がイギリスで 956 年ですから 2 位の倍以上の差で 1 位です。この事実は知らない日本人が多いのも当然です。GHQ の占領政策の一環で日本が世界一の歴史がある国という部分を教科書から削除させたからです。日本が再び誇りを取り戻し力を付けることを防ぐのが目的です。文科省は、今でもその教えを守り学校でこのことを教えません。おかげで日本人の誇りは随分と小さくなっているというのが現実です。つまり、GHQ の日本無力化政策は 70 年以上経った今でも機能し続けています。

では、建国はどこでされたのでしょうか？奈良県橿原市（かしはらし）にある橿原神宮（かしはらしじんぐう）です。ここで神武天皇が即位されたと日本書紀に記されています。伊勢神宮とともに日本人なら一度は訪れてみたい神社です。

国の最大の責務は、国民の生命と財産を守ることです。そのために税金を取っています。神武天皇が国民の命を守るために米蔵を作り、米互助会制度を始めたのはこのためです。国が国民から税金を取って、違うことに使った後に、国民の生命と財産を守るために増税します。というのは、税の目的の優先順位が逆になっているのではないのでしょうか？集めた税金からまずは国民の生命と財産を守る。余った税金で他のことをするのが当然だと思います。つまり防衛増税などという言葉はないのです。今取っている税金からまずは必要な防衛予算を取る。残った税金で他のことに使えば良いのです。さて、あなたならどう考えますか？

《来賓卓話》

演題「ロータリーの素晴らしい機会

国際奉仕事業のすすめ」

所属 国際ロータリー第 2620 地区奉仕活動委員会

役職 国際担当副委員長

氏名 望月啓行 様



国際奉仕活動について、その敷居が高いと感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、実際には様々な形式の国際奉仕事業が存在します。具体的には、以下の三つの形式があります。

- ・クラブ独自で行う国際奉仕事業
- ・地区補助金を利用して行う国際奉仕事業
- ・グローバル補助金を利用して行う国際奉仕事業

2620 地区の国際奉仕事業の現状をご紹介します。地区補助金を利用した事業には、せせらぎ三島 RC がカンボジアで行った児童教育・生活環境向上支援事業、浜松 RC がフィリピンの学校に鍵盤ハーモニカを寄贈し文化交流を図る事業、清水中央 RC がタイで子どもたちへの教育文化環境支援を行う事業、甲府北 RC がウクライナ難民支援のための講演事業などがあります。地区補助金はグローバル補助金と比べて自由度が高く、海外のクラブとの連携や長期的な持続可能性、大規模な予算規模などの要件がありません。

グローバル補助金を利用した事業としては、浜松南 RC とコロポ西 RC が協力してスリランカ国立病院への医療機器支援事業があります。グローバル補助金を利用する事業はいくつかの要件を満たす必要がありますが、クラブの予算をほとんど必要とせず、小さなクラブでも大規模な奉仕事業を実施できる点が特徴です。ロータリー固有の制度を活用し、マイロータリーの様々なデータベースからヒントを得ることが推奨されます。

最後に、国際奉仕事業がクラブにもたらす波及効果についていくつかの感想を共有します。クラブ内の団結力が高まり、現地の人々との交流を通して世界の現状を肌で感じる事ができたという声があります。これらの活動はクラブの活性化にもつながり、メンバーの理解を深めることが重要です。

《スマイル報告》

大脇 順実君

本日は、国際奉仕の活動として田丸屋本店の望月啓行社長をお迎えすることができました。国際奉仕について、分かりやすく、かつ、身近に感じる説明をいただけることに感謝してスマイルします。

畑田 整吾君

本日は望月様より大変貴重な卓話を頂きありがとうございました。

川崎 依子君

亡き母の通夜式、葬儀に際しまして、弔電、弔問を賜りまして本当にありがとうございました。会員のみなさまのいつもながらのお心遣いに深く感謝いたします。

塚田 義生君

いろいろご心配頂いていた保護猫が日曜日に亡くなりました。眠ったままでした。たくさんの方にお声がけいただきありがとうございました。

伊藤 洋一郎君（誕生日の御礼）

島 武志君

突然のお願いにもかかわらず、米山記念奨学事業の世話クラブ及びカウンセラー制度に関して完璧な説明をしてくださった、新聞会員に感謝してスマイル。

(会報作成 鍋田知佐人)